

荻外荘 オリジナルグッズ

2023年度新商品

荻外荘オリジナルグッズは、「荻外荘復原・整備プロジェクト」の取組をより広くお知らせするために、2022年の夏から販売を始めました。このオリジナルグッズに、今年度新たなラインナップが加わりました。

オリジナルグッズの売り上げは、その全額を「杉並区みどりの基金」に積み立て、荻外荘公園に活用します。



ウオッシュャブルペーパー
荻外荘トレー
青×茶、赤×灰 各800円(税込)
たて 15.5cm よこ 18cm
(スナップを留めない時)



荻外荘オリジナルてぬぐい
「楓と松葉」 1,500円(税込)
たて 約33cm よこ 約90cm



荻外荘マスキングテープ
「龍と水玉」
ピンク、ミント 各400円(税込)
幅 24ミリメートル 長さ 7メートル



杉並区地図パズル
～荻外荘(てきがいそう)はどこ? 1,500円(税込)
たて 21.5cm よこ 20cm

近衛文麿が荻外荘に住み始めた昭和12年(1937)年頃の杉並区のまちをパズルにしました。全てのピースを取り外すと、台紙側は現在の杉並区の地図になっていて、町名の移り変わりを遊びながら学べるパズルです。

・絶対に口に入れたり、飲み込んだりしないでください。
・誤飲防止のため、小さなお子さまの手の届かないところで使用・保管するようにしてください。

新商品以外の商品の情報など、さらに詳しい情報は、区公式ホームページ「荻外荘オリジナルグッズ」をご覧ください。



荻外荘オリジナルグッズ

「荻外荘オリジナルグッズ」のお求めは・・・

- コミュかるショップ** 杉並区阿佐谷南1-15-1 杉並区役所1階ロビー(直通電話なし)
9:00~16:30 土日祝、年末年始はお休み
- 郷土博物館** 杉並区大宮1-20-8 ☎03-3317-0841
9:00~17:00 月、第3木、年末年始はお休み
(祝日と重なった場合は開館、翌平日お休み)
- 郷土博物館分館** 杉並区天沼3-23-1(天沼弁天池公園内) ☎03-5347-9801
9:00~17:00 月、第3木、年末年始はお休み
(祝日と重なった場合は開館、翌平日お休み)

【荻窪まちづくりだよりに関するお問い合わせ】

杉並区 都市整備部 市街地整備課 荻窪まちづくり担当
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
TEL : (代)03-3312-2111 (内線3382、3384) FAX : 03-3312-2907



よみがえります。
荻外荘が、

特集 荻外荘



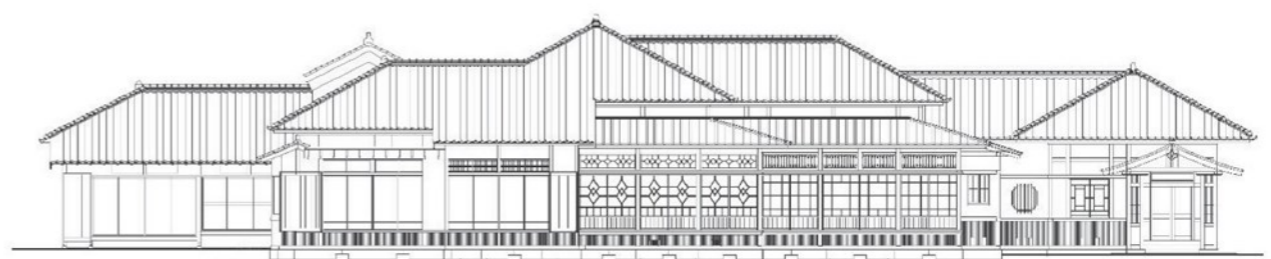
本紙では、荻外荘についてご紹介しません。

荻外荘公園の開園をきっかけとした荻窪駅周辺地区のまちづくりに取り組んでいきます。

荻外荘公園の開園をきっかけとした荻窪駅周辺地区のまちづくりに取り組んでいきます。

創刊号
荻窪
まちづくり
だより

【建造物整備基本図】



南立面図

「萩外荘」の誕生

「萩外荘（てきがいそう）」は、昭和2（1927）年に建築家 伊東忠太の設計により、医師で大正天皇の侍医頭（じいのかみ）も務めた入澤達吉の別邸として創建されました。庭にはカエデの木が多く、入澤達吉はこの別邸を「楓萩荘（ふうてきそう）」と呼んでいました。

設計を担当した伊東忠太は、築地本願寺などを手がけた、日本を代表する建築家です。入澤達吉と伊東忠太は、帝大の教授仲間というだけではなく、入澤は伊東の義兄にあたり、趣味も共通するところが多かったそうです。

入澤には、静養と、客人をもてなすための邸宅を持ちたい、という意向があり、これが、きれいな空気と、松林や富士山をも望める美しい眺めに恵まれていた萩窪に居を構える動機となったようです。伊東忠太が萩外荘の設計を行ったのは、彼が50代の終わりから60代の初めでした。義兄からの注文を受け、“思ふ通りの家”を目指して自ら設計図を引き、木挽の選定も行った伊東は、邸宅の内外装にも自らの意向を大いに反映させた、との内容が記された資料もあるそうです。



創建時の萩外荘（個人提供）

その後、萩外荘は、昭和12（1937）年に、入澤達吉から、戦前に内閣総理大臣を3度務めることとなる政治家 近衛文麿に譲渡されます。入澤達吉は、近衛文麿の健康の相談相手でした。内閣総理大臣就任に伴う訪問客の多さから逃れるため、東京郊外に邸宅を求めていた近衛は、入澤に依頼し「楓萩荘」を購入。現在とは地名表記が異なり、建物が萩窪の外にあったことから、近衛の後見人であった西園寺公望が、「萩外荘」と名付けたともいわれています。近衛は、「心身の休養」の場を期待して萩窪に移り、住み始めたのですが、この家は、近衛家の生活の場であるだけでなく、政治会談の場ともなっていき、日中戦争の泥沼化から日米開戦、そして、近衛が書齋で亡くなるまで、幾度となく政治家や軍人などが訪れ、首相官邸に準ずる政治空間としての役割を果たしました。

このように戦前の政治の転換点となる重要な会議が数多く行われた「萩外荘」は、日本の政治史上重要な場所であるとして、平成28（2016）年3月、国の史跡に指定されました。



創建時の応接間



創建時の客間

「萩外荘復原・整備プロジェクト」

昭和20（1945）年12月、近衛が「萩外荘」の書齋で自決した後、「萩外荘」には近衛文麿のご遺族がお住まいになっていましたが、平成24（2012）年、次男の通隆氏が逝去すると、地元10町会・自治会長の連名で「萩外荘」の保存を求める要望書が提出されました。区はこれを受けて、「萩外荘」の土地と建物を平成26（2014）年に取得。現在、令和6（2024）年12月の区立公園「萩外荘公園」としての一般公開に向けて、「萩外荘」を、近衛らが重要な会談を行い政治の表舞台となった時代の姿によみがえらせる「萩外荘復原・整備プロジェクト」を進めています。杉並区は、日本全国の幅広い方々からご寄附を募り、ご理解とご賛同を得ながら、このプロジェクトを行っていきたいと考えています。



萩外荘復原・整備プロジェクト

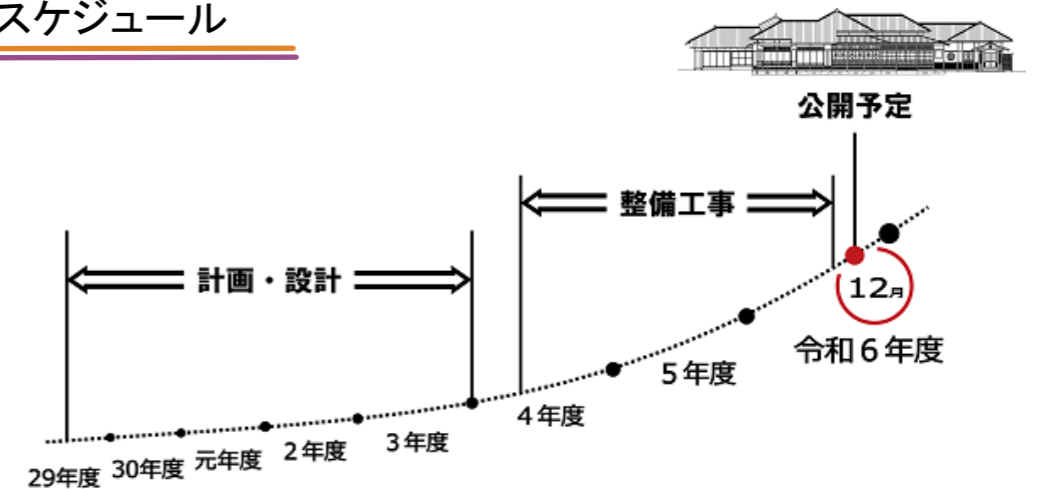


TEKIGAIISO
SUGINAMI CITY



ご寄附はこちらから
「ふるさとチョイス」

事業スケジュール



展示休憩施設棟の整備

「萩外荘」の東側用地においては、新たに展示休憩施設棟（設計：株式会社隈研吾建築都市設計事務所）を建設します。本施設には、展示スペース、休憩スペース（カフェ）などを設ける計画であり、大田黒公園や角川庭園などの周辺施設との連携や回遊性を確保し、萩窪の歴史や原風景を顧みながら多くの人が集い交流するとともに、地域の方が誇りに思えるような杉並のおもてなしの場として整備します。



展示休憩施設棟 外観イメージ